

【表紙】

2024年度

明治学院大学大学院

文学研究科フランス文学専攻博士前期課程

入試問題

専門・フランス語

＊注意事項

1. 解答は、各問題についてそれぞれ別紙に記入すること。
2. 下書き用に1枚ずつ白紙を配布する。足りなければ監督者に請求すること。
3. 解答用紙の問題番号欄の【 】内に問題番号を明記すること。

【1】全文を日本語に訳しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

Guy de Maupassant, *Le Horla* (1887) dans *Le Horla et autres contes d'angoisse*, Flammarion, 1984, p. 53.

*¹ Rouen : ルーアン。フランス北部に位置する都市。

*² Le Havre : ルアーヴル。フランス北西部に位置する都市。

【2】以下は、文学と社会学の関係を歴史的にまとめた文章である。下線部を日本語に訳しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

Gisèle Sapiro, *La Sociologie de la littérature*, Éditions La Découverte, 2014, p. 9.

【3】次のうちから1題を選び、20 行程度で答えなさい（選択した問題の番号を明記すること）。

- ① 「裁判」や「法廷」が舞台となっている作品（文学、演劇、映画など、ジャンルは問わない）をひとつとり上げ、その舞台が作品のなかでどのように描き出されているか、できるだけ具体的に説明しなさい。
- ② 物語の最後に主人公や中心人物が死ぬことは、作品に対してどのような効果を及ぼすか。具体的な作品（文学、演劇、映画など、ジャンルは問わない）をひとつとり上げ、自由に論じなさい。
- ③ サルトルは「地獄とは他人のことだ」と語っている。なぜ、またどういう時に他人は地獄になるのか。また、その地獄から抜け出すにはどうすればよいのか。自由に論じなさい。
- ④ モンテーニュは、「人間とは、おどろくほど空しく、変わりやすく、うつろいやすい存在なのであり、人間に対して、確固とした一律の判断を立てるのはむずかしい」と語っている。これについてどう考えるか、自由に論じなさい。

【4】次のうちから2題を選び、それぞれ3～5行で答えなさい（選択した問題の番号を明記すること）。

- ① 愛を語る詩をひとつ挙げ、簡単に説明しなさい。
- ② フランスの旧植民地にかかわる作品をひとつ簡単に紹介しなさい。
- ③ 象徴主義の作品をひとつ挙げ、その特徴を簡単に説明しなさい。
- ④ 政治と深く結びついた作品をひとつ挙げ、その特徴を簡単に説明しなさい。
- ⑤ 「啓蒙思想」について簡単に説明しなさい。
- ⑥ フランスの文学賞をひとつ簡単に紹介しなさい。
- ⑦ ヴィレール＝コトレの勅令について簡単に説明しなさい。
- ⑧ メトニミー（換喩）とはどのような言語現象であるか、具体例を挙げながら説明しなさい。
- ⑨ 「観念芸術（コンセプチュアル・アート）」について簡単に説明しなさい。
- ⑩ 「エディプス・コンプレックス」について簡単に説明しなさい。

【5】次のテーマから1つを選び、5行ほどのフランス語で自由に論じなさい（選択した問題の番号を明記すること）。

- ① La place des femmes dans la littérature
- ② La littérature de la catastrophe
- ③ « Traduire, c'est trahir »
- ④ Le silence dans la société contemporaine
- ⑤ L'art et l'intelligence artificielle

【表紙】

2024年度

明治学院大学大学院

文学研究科フランス文学専攻博士前期課程

入試問題

英語

*注意事項

1. 解答は、答案用紙に記入すること。
2. 下書き用に1枚ずつ白紙を配布する。

次の文章は、アメリカ人日本文学者のドナルド・キーンの著作 *So Lovely a Country Will Never Perish. Wartime Diaries of Japanese Writers* (和訳：『日本人の戦争 作家の日記を読む』) からの抜粋である。これを読んで、以下の問に答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

著作権の関係で掲載できません。

Donald Keene, *So Lovely a Country Will Never Perish. Wartime Diaries of Japanese Writers*, 2010, Colombia University Press, p.13-14.

*¹ Kafû : 永井荷風 (1879-1959) 小説家

*² war : 太平洋戦争を指す

*³ disdain : 軽蔑

*⁴ Takamura Kôtarô : 高村光太郎 (1883-1956) 詩人、彫刻家

*⁵ haughty : 高邁な

*⁶ Noguchi Yonejirô : 野口米次郎 (1875-1847) 詩人

*⁷ Joaquin Miller : ホアキン・ミラー (1837-1913) 詩人

*⁸ Imagists : 写象派詩人

*⁹ struck : 印象を与えた

問 1 下線部 (1) を和訳しなさい。

問 2 高村光太郎が下線部 (2) に表れているような感情を抱いた理由を、本文の内容に即し、1～2行の日本語で答えなさい。

問 3 下線部 (3) を和訳しなさい。

問 4 下線部 (4) の 3 つの丸括弧内の動詞を、文脈に合わせてそれぞれ最も適切な形にしなさい。